

カーボンニュートラルLNGの普及・拡大

天然ガスは、化石燃料の中では最もCO2排出量が少ないクリーンなエネルギーです。東京ガスグループではこれまで、天然ガスを原料とする都市ガスへの燃料転換や、天然ガスの高度利用を進めることでCO2排出削減を実現してきました。さらに2019年度からは、カーボンニュートラルLNG(以下、CNL)を日本で初めてシェルグループから受け入れ、CNLを活用したカーボンニュートラル都市ガスの供給を開始しています。

CNLは、LNG(液化天然ガス)の採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、新興国等における環境保全プロジェクトにより創出されたCO2クレジットで相殺(カーボン・オフセット)したLNGです。燃焼させても地球規模ではCO2等が発生していないとみなされるとともに、環境保全プロジェクトは現地での雇用の創出や生物多様性保全等にも貢献します。

東京ガスは、カーボンオフセットの活用をはじめとした、新たなソリューションの提供を通じて、お客さまと共に「CO2ネット・ゼロ」に挑戦し、社会課題の解決に取り組んでまいります。

パルサーチェーン全体で排出される温室効果ガスも、森林保全等で削減されたCO2クレジットで相殺することにより、地球規模では排出量がゼロになります。



<https://carbon-neutral-lng.jp/>



子どもたちに誇れる2030へ、そしてその先へ。

シミズグループは、建設事業の枠を超えた不断の自己変革と挑戦、多様なパートナーとの共創を通じて、時代を先取りする価値を創造(スマートイノベーション)し、人々が豊かさと幸福を実感できる、持続可能な未来社会の実現に貢献を行い、イノベーションを通じた価値の提供により、SDGsの目標達成にも貢献します。

地震や巨大台風、豪雨などの自然災害から生活と事業を守ることが、建設業の使命であると考え、強靱な建物、インフラの構築を通じて、「安全・安心なレジリエントな社会の実現」に貢献します。

ユニバーサルデザインやWell-Beingを意識した施設・まちづくりを通じて、誰もが「健康・快適に暮らせるインクルーシブな社会の実現」に貢献します。

地球温暖化や森林破壊、海洋汚染など地球環境問題が深刻化するなか、事業活動におけるCO2排出量削減はもとより、省エネ・創エネ技術によるZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)の普及、自然環境が持つ潜在能力・機能を活用したグリーンインフラの推進、再生可能エネルギーへの取り組みなどを行い、「地球環境に配慮したサステナブルな社会の実現」に貢献します。

創業以来大切にしてきた「誠実なものづくり」に対する高い志と、時代を先取りしてチャレンジしていく「進取の精神」を守り継ぎながら、お客さま・社会の期待を超える価値を提供していきます。



<https://www.shimz.co.jp/company/csr/sdgs/>



脱炭素社会の実現に寄与する 地域密着型バイオマス発電事業の創出

三井物産は温室効果ガス(GHG)排出量削減を目指し、再生可能エネルギー(以下、再エネ)事業の取り組みを進めています。北海道では木質バイオマス発電による地域分散型電源に取り組み、2017年苫小牧市、2019年下川町、2021年当別町でそれぞれ営業運転を開始しました。電力消費者の近くに小規模な発電施設を分散配置することで、送電時のエネルギーロスを削減でき、GHG排出量削減にもつながる事業です。北海道には日本の森林面積の20%を超える豊かな森林資源があり、燃料となる間伐材等未利用木材の安定供給が見込めます。太陽光や風力と異なり、気象条件によらず24時間365日ほぼ一定の出力で安定稼働するバイオマス発電で、再エネの主力電源化を推進できると考えています。

当社は全国74か所に約44,000ヘクタールの「三井物産の森」を保有しており、うち約36,000ヘクタールが北海道にあります。社有林の活用とともに、間伐材等未利用木材の需要創出、林業従事者・運材業者の雇用創出と木材利用の効率化等、林業活性化にも貢献してまいります。



(下川町のバイオマス発電所)

https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/sustainabilityreport/2020/pdf/ja_sustainability_2020-08.pdf



きらぼし銀行のスポーツ振興に向けた取り組みについて

きらぼし銀行は、SDGsの一環として持続可能な社会へ寄与することを目的に、スポーツ振興・アスリート支援に力を入れています。その一つとしてアスリートの価値向上やアスリートによる社会課題解決支援を目的に設立された一般社団法人APPOLO PROJECTに協賛しています。本協賛を機に、今年3月にはお客さま向けに「アスリートの社会課題解決への可能性」をテーマとしたトップアスリートによるパネルディスカッションを行い、FC東京クラブコミュニケーターの石川直宏氏にも登壇いただきました。

また、生活環境を安定させながら競技活動に集中したいと考える現役トップアスリートをサポートすべく、将来の活躍を目指す2名のトップアスリート(陸上競技・棒高跳の澤 慎吾選手、スケート競技・ショートトラックの岩佐 暁選手)を採用しています。今後もスポーツの力、アスリートの力を信じ、スポーツ振興・アスリート支援に関わるさまざまな取り組みを通じて、持続可能な社会の実現と社会との共通価値の創造に努めてまいります。



(過去に実施したイベントのチラシ)

<https://www.kiraboshibank.co.jp/about/movie/>



障がい者スポーツ応援プロジェクト DREAM AS ONE.

三菱商事の企業文化には、社是である三綱領を掲げると、真に豊かな社会の実現を目指して、地域社会や国際社会とともに発展していこうという思いが深く根を下ろしており、より豊かな社会づくりに貢献すべく自ら考え実践する社会貢献活動を推進しています。活動は「インクルーシブ社会の実現」「次世代の育成・自立」「環境の保全」の3つの軸で展開しており、中でも「インクルーシブ社会の実現」に該当する障がい者スポーツに対する支援は、長年に亘り取組んできたものをさらに充実させ「DREAM AS ONE.」プロジェクトとして2014年に発足させました。

「DREAM AS ONE.」では「障がい者スポーツの裾野を広げる」、「障がい者スポーツに対する理解度・認知度を高める」ことを目的に、競技をする側見る側双方に働きかけることで誰もがスポーツを楽しむことの出来る社会を目指し活動しています。「裾野を広げる」取組みとしては障がいのある子どもたちへのスポーツ教室開催や日本障がい者サッカー連盟・脳性麻痺サッカーチームへの支援の実施、「理解度・認知度を高める」活動では当社所属のパラアスリートと共に障がい者スポーツ体験会やトークイベントを行うなど、多くの方へ障がい者スポーツの魅力を発信しています。三菱商事はこれからも障がい者スポーツ支援を通じてインクルーシブ社会の実現を目指してまいります。



(障がい児向けスポーツ教室の様子)



(脳性麻痺サッカーチームとのイベント)

<https://www.mitsubishicorp.com/jp/ja/dreamasone/>



MOL 商船三井
青い海から人々の毎日を支え、豊かな未来をひらくことを理念とし、海運を中心に事業を展開しています。当社は本年6月に2050年の温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「環境ビジョン2.1」を発表しました。今後も社会が抱える課題に率先して取り組みます。

JFE
人々が豊かで快適に生活する社会を目指し事業展開する私たちにとって、全ての人が健康な世界を目標にすることは当然の使命です。インフラ整備・運営を効果的に進め2030年に向けSDGsを達成するため、世界最高の技術をもって社会に貢献します。

EUROSPORTS
EURO SPORTS(ユーロスポーツ)では、Jリーグ観戦招待や、幼稚園・保育園でのサッカー体験教室の開催等の活動を通し、サッカーの未来と子どもたちの未来に貢献するため、サッカーとふれあい、体験する機会を提供しています。

FC TOKYO

金太郎ホーム
金太郎ホームは、良い企業市民を目指し、豊かな会社づくりとその持続的な発展や人材育成のための活動を行っています。地域のみならず当社社員とともに積極的に社内活動や社会貢献活動を進めています。

日本郵船
海運業を軸に総合物流事業を展開する日本郵船グループでは、全世界の船員の8割を占めるフィリピン人が抱える金融インフラ問題を解決するため、船員向け電子通貨プラットフォーム「MarCoPay」を設立。船員と家族のより豊かな生活への貢献を目指しています。

KIRIN
よろこびがたぐ世界へ
キリングループは、ポジティブインパクトで環境保全に貢献し、社会全体にサステナビリティをもたらすことを目指します。

J:COM
J:COMでは地域に根差した事業者として、子どもたちを支援するチャリティーイベントや下校見守り活動の実施など、街を元気にする活動を行っています。今後も安全・安心で魅力的な地域づくりに貢献できるよう取り組んでまいります。

大矢運送は、SDGsに取り組んでいます!!

当社は、創業以来最新鋭の車両・重機を揃え日本のインフラ設備を支えるのと同時に、環境負担の少ない機種を導入し続けてまいりました。風力発電やバイオマス発電に代表される再生可能エネルギー発電の施設建設・メンテナンス作業では豊富な経験値を元に計画から参画し、低コスト・省スペースでかつ安全第一を絶対の物として循環型社会を構築する活動に協力しています。本社には太陽光発電システムを導入し、年間約16,887kg-co2のCO2削減量を見込んでいます。また毎週社屋周辺の地域清掃活動や、毎年12月から社屋をLEDライトによるイルミネーションでライトアップし、環境保全・環境美化に貢献しています。

FC東京のクラブスポンサーをはじめ、地元のイベント活動への参加、自社ヤードを使用しているBBQなどの社内イベントを積極的に行い、普段お世話になっている地域への感謝の気持ちとして地域振興に貢献し、社内では社員やそのご家族みなさまにとってゆとりと豊かさを実感できる生活の実現を目指しています。



<http://www.human-ohya.co.jp/sdgs.html>



フレッシュ・デュ・モンテ
"A Brighter World Tomorrow(より明るい世界の未来)"をテーマに持続可能なより良い社会の実現を目指し、SDGsの目標達成と将来を見据え、事業を通じて社会の課題解決に取り組んでいます。

HINATAO ENERGY
FC東京でんきを通じて、FC東京への支援金・支援物資の提供や、FC東京のホームタウン活動を支援し、地域活性を推進しています。また、太陽光エネルギーサービス事業や「カーボン・オフセット」の取り組みなど、環境保全の推進も積極的に行っています。

TOMAS
これからの国際社会を生き抜く人材を育てることを目的として、勉強以外にも何か夢中になって打ち込めるものを見つけたいと「勉強プラスワン」という活動に注力し、多くの文化・スポーツ支援活動を積極的に行っています。

NO PLANET, NO TOKYO
味の素スタジアム南側広場(アジパンダ広場)では、本イベントの開催主旨に沿って様々なブースが展開します! J:COMブース、ヒナタオエナジーブース、その他体験イベントを実施しますので、ぜひお立ち寄りください! [詳細はこちら](#)



コミュニケーションでサステナブルな社会へ

事業ブランド「XFLAG」を展開するミクシィは、ITを活用し、友人や家族といった親しい人と一緒に楽しむコミュニケーションサービスを提供し続けています。私たちはこれまでに培ってきたITやコミュニケーションの知見をもとに、サステナブルな社会づくりにも貢献してまいります。

- **次世代の育成・支援**
学生の企業訪問受け入れや学生へ独自開発のプログラミング教育アプリを使った講座の実施
- **地域への貢献**
渋谷に集う人々のアイデアを基に、オープンイノベーションによる社会的課題の解決策のデザインの協力と、公営競技ビジネスを通じた地域活性化及び地方創生
- **スポーツ振興**
プロチーム・個人選手を幅広くサポートし、さらなるスポーツ産業の盛り上げに貢献
- **安心・安全なサービス利用への取り組み**
不正行為のモニタリングや利用規約に違反した利用者やコミュニケーションが発生していないかどうか、安全にご利用いただくための監視活動や青少年の保護活動
- **社会課題への取り組み**
児童ネット被害予防施策、トラブル予防施策、学校や自治体における情報モラル講演活動
- **IT業界への貢献**
渋谷に拠点を置く当社を含めたIT企業4社でのIT人材の育成やITのモノづくりに携わる人の技術力底上げのためのカンファレンスイベントの開催



<https://mixi.co.jp/esg/>



持続可能な社会の実現を目指して

当社は、経営の根幹であるコンプライアンスの徹底と安全・品質の向上を図り、高い企業価値の創造と強靱な企業体質の確立に全力を傾注し、安心で快適な毎日のために、社会インフラを支えるパートナーとして社会の持続的発展に貢献してまいります。

- **低炭素・循環型社会の実現に向けて**
建築設備、情報通信設備、電力・エネルギーシステム分野における豊富な設計・施工経験を活かし、環境に配慮した技術・工法の開発、省エネルギーシステムの設計・施工などに取り組んでいます。
- **「日本バラスポーツ協会」への協賛**
公益財団法人日本バラスポーツ協会とオフィシャルパートナー契約を締結し、これからも地域社会の活性化と快適で感性豊かな暮らしのために、バラスポーツの未来を応援してまいります。
- **「富士山の森づくり」活動への参加**
「富士山の森づくり」活動は、富士山の豊かな森林や生態系が失われることを危惧し、自然林に近い生態系を保全するために行われているものです。当社は2017年より同活動に参加し、社員とその家族が植樹作業やシカ食害防止ネットの設置などを実施。富士山の環境に関する説明を受け、富士山に対する理解を深め、環境保護への意識を高めています。



<https://www.kanden.co.jp/>



AKRACING
SDGsの観点からテレワークの全社導入や子育て世代の支援制度など従業員の働きやすい環境を整備しています。また高機能チエアやWi-Fi 6ルータをはじめテレワーク環境を支援する商材の取扱量拡大に注力しております。

nishikawa
よく眠り、よく生きる。
持続可能な社会のために、すべての環境を配慮し、自然資源および、生産地の保護を重要課題とし、環境保全の観点からあらゆるモノづくりを行います。「健康と環境」をテーマに「西川チェーンの森」植樹活動を実施しています。

onoyama
小野山興産は「~Together Toward Tomorrow~(共に明日へ)」をテーマに、不動産事業とスポーツ協賛を通じて安心で健康な社会づくりに寄与し、これからも都市と人とのより良い関係の創造を目指してまいります。